

作成日 平成29年3月3日

避難行動要支援者避難支援計画(個別支援計画)兼同意書



(12行まで出力)

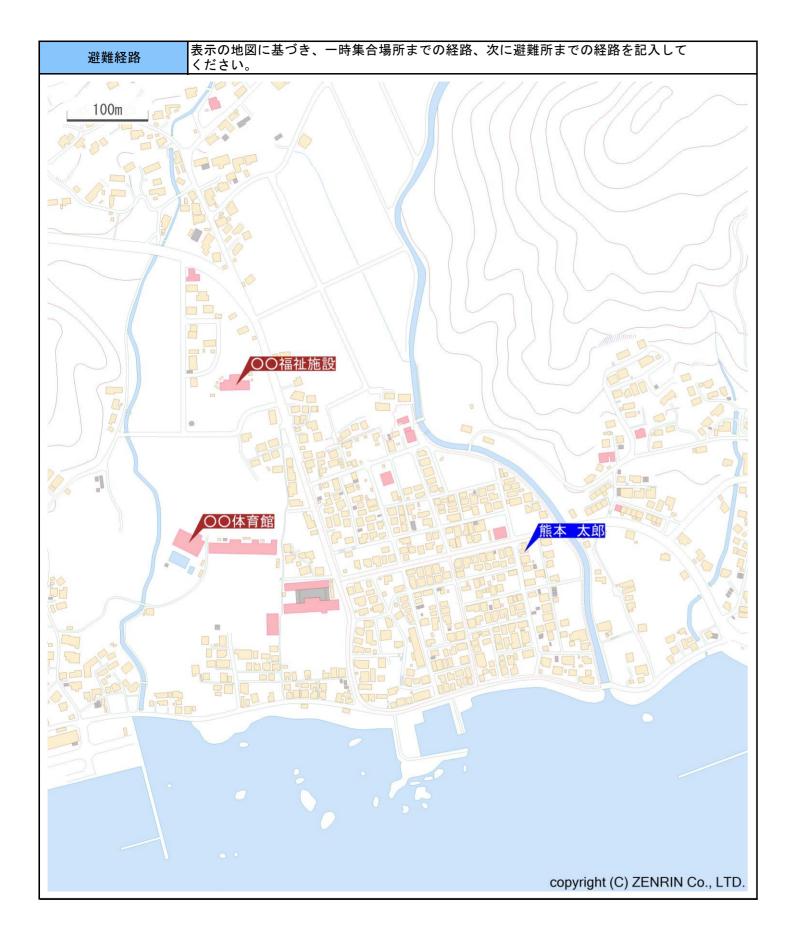
台東区長 殿

私は、災害時の避難支援が必要なため、区が個別支援計画を作成すること及び避難支援者等に 個別支援計画の情報を提供することに同意します。

- ※ 個別支援計画は、避難支援者及び区が作成を委託した福祉関係事業所(作成対象者のケアプランやサービス利用計画を作成している居宅介護事業所や相談支援事業所)に提供され、災害時には、必要に応じて避難行動要支援者名簿の提供先に登録内容が提供されます。
- ※ 災害時の支援に必要な場合は、区職員が個別支援計画に記載の医療機関に医療情報の問い合わせをする場合があります。

※ 同意しな	か方の個	別支援	計画は作成	。 できません。								
	署名	[2	卜人氏名			代理者	5氏名	代理	太郎]
フリガナ	クマモト タロウ					性別	生年	月日	大正12年7月15日			
氏 名	熊本 太郎					男	年	齢	(99歳)			
	〒 899−2103					自宅電話			00-0000-0001			
住 所	熊本市中央区水前寺1丁目7-26〇〇マンション10 1号室						携帯電話			090-0000-0001		
メールアト゛レス	」 写主 XXXXXXX@XXXX. jp					FAX			000-000-0000			
要支援者 の状況	ひとり暮らしの高齢者、要介護4、身体障害2級、下肢機能障害2級、体幹機能障害2級、聴覚障害1級、愛手帳2度、精神障害1級、人工呼吸器、歩行速度が遅いため、支援してほしい (3行まで出力)									愛の		
一時集合場所	※※神	社、〇	〇公民館、	□□□体育館のいずれ	か							
避難所	〇〇福	○福祉施設 避難場所 △△公園 △□小学校体育館 □ □										
風水害避難所	ΟΔΠ	小学校	体育館									
代理記載及	び申請の	の場合	氏 名	熊※ ※※		登録:	者との	関係	息子			
緊急時の家 族等の連絡 先	氏名	熊本 美智子							続	柄	妻	
	〒 899-2103 住所 ○○市人形町20番地23号47△△ハイツ101号室								自宅	電話	000-0000-0001	
			何スル町20番地23号47ムムハイフ101号室 行まで出力)					携帯	電話	090-0000-0003		
	氏名		* **						続	柄	隣人	
	住託		899-2102						自宅	電話	000-0000-0001	
	住所 〇〇市〇〇□町4514番地1 (2行まで出力)								携帯	電話	090-0000-0001	
家族構成、	同居状》	兄等言	亥当する箇戸	所にチェックしてくだ	さい。							
■ 単身世帯	帯 □	〕同居	者あり _※	同居者ありの場合は下記	の該当する箇	箇所に き	チェック	してく	ください	,、(神	复数可)	
■ 配偶者		〕親] 子 ()	■ その他	ģ (妻)
■ 日中一人	人になる	らことだ	が多い									
私の	状態	言	亥当する箇戸	所にチェックしてくだ	さい。(複数	如答回	可)					
歩行に関する状態			□ 自力で歩行できる ■ 介助があれば歩ける □ 歩けない									
使用する器具 ■ 杖 □ 車いす □ シルバーカー □ その他 ()				
			■ 音が聞	こえない、聞こえにく	い口物	が見え	えない	、見え	にくし	۸,		
その他避難時に 必要な情報			□ 言葉や文字が理解できない、理解しにくい □ 集団に適用することが苦手、難しい									
			□ その他 ()	
			■ 意思の伝達方法で配慮が必要な場合									
			(認知症の為、妻に連絡 (2 行まで出力))		
避難の意向			■ 指定の避難所へ避難する □ 在宅避難を希望する									

医療情	報	該当する箇所にチェックしてください。(医療情報の項目は複数回答可)							
主な病名		認知症 (2行出力)							
主な常服薬		〇〇薬 (2行出力)							
	病院名	花牟礼病院							
かかりつけ医	住所	※※市△△町111-22							
	電話番号	111-111-1111							
	■ 人工	呼吸器 🗆	酸素ボン	ベ 口吸	引機	■ ストー	マ [コ カテーテル	
医療情報	□ 人工 ■ その	【工透析 □ 経管栄養(胃ろう等) □ I ☆の他 (※※※]	コ インスリン	١
避難生活				1 アノゼキい	·。(トイレの項	5日1七岁粉16	マラン		
世無工位 食事の介助	1月 千以	■ 要			·。 (ドイレのな	はは後数は	3合り/		
配慮(アレルギー等)		■ 要 □ 不要 □ なし							
		■ 何							
		□ 一人で可能 ■ 一部介助が必要 □ 全部介助が必要 □ オムツ使用							
その他配慮する	5点				可能性がある				
避難支援	養者		推支援者の					後は当調査票ないる方のみ	
氏名 有※ ※	* *					私	との関係	隣人	
	9-2101					E	自宅電話	000-0000-0001	
	人形町/ まで出力)	8番地23号4△△ハイツ402号室)					携帯電話	090-0000-0001	
氏名 相※ ※	* *					私	との関係	隣人	
\	9-2102	4 5 1 4 番地 1				E	自宅電話	000-0000-0002	
	まで出力					掛	携帯電話	090-0000-0002	
福祉サー	ビス								
事業所名		ロロデイサー	ビス						
听在地		〒 888-1111 ※※市口口町 (2行まで出		1					
地区 竹町	」 「地区		町会	竹町南町会			(001	(00101) 町会の同意 有	
警察署 ※※	·警察署		消防署	※※消防署		消防団 〇〇(〇消防団第一分団	
民生委員 民生 五郎				(0101) 電話者	番号1 000-0000	号1 000-0000-0000 電話		話番号2 090-0000-0000	
特 記 事 項 平成19年4月]∼18月]、糖尿病治療(入院履歴あり。				



個別支援計画作成に伴うお願い

① 自助共助の取組

び害時には、避難支援者や地域の方も被害にあう可能性があり、避難支援者が十分に活動できないことも考えられます。災害時には支援を待つだけでなく、「自分の身は自分で守る」を心掛けましょう。また、避難支援者だけでなく、日頃から地域の方々と良好な人間関係を構築しておくことは、災害時の共助の助け合いには重要となります。地域の防災訓練など行事への参加もご検討ください。

② 避難支援者について

避難行動要支援者は、平常時から支援者を決めておき情報提供等することにより、災害時における 支援を円滑に行っていくものです。しかし、避難支援者自身や避難支援者の家族などの安全の確保が 前提となるものであり、必ず災害時に支援がなされることを保証するものではなく、また、避難支援 者は法的な責任や義務を負うものではないことをご理解ください。

調査員使用欄 調査時の状況や気になった点をご記入ください。 家を留守にすることが多い為、複数回の訪問の必要あり。

(13行まで出力)

調査員所属団体名 △△△地域包括支援センター

調査員氏名